

キャンパス・フランス

夏季フランス語語学研修(2018年8月13日-9月7日)



初めてのフランス留学

私は2018年8月から約1カ月間、キャンパス・フランス(フランス政府留学機関)の主催する夏季フランス語語学研修に参加しました。大学では「短期留学」と言われるものです。サン=エティエンヌ大学、グルノーブル大学の附属語学学校で行われ、私はサン=エティエンヌ大学の方に参加しました。

私がこの短期留学に参加した理由は、大学の在学中にフランスに約一年間の長期留学へ行くことを予定しており、本当に自分はフランスに留学に行きたいのかという不安を抱いていました。そこで、芸大学の長い夏休みを利用して取り敢えず一カ月の留学へ行ってみようと思いました。

付属語学学校での生活

付属学校でどのように過ごしていたかを紹介します。まず最初に、テストを受けました。文法が中心のテストです。その後、面接を行います。なぜフランス語を学んでいるのか、いつフランスについて、どうやってサン=エティエンヌまでやってきたのか等を聞かれたと記憶しています。当時、フランス語での会話が出来るような力は持っていなかったため、英語を使って答えたりして難を逃れました。そしてテストと面接の結果から、クラスの振り分けが行われます。初級のクラスでは、授業が英語とフランス語で行われ、フランス語の文法を一から学習していきます。初級のクラスに参加していた友達に聞くと、フランス語を学んだことがなくても、授業についていくことが出来る、と言っていました。中級のクラスは、授業はフランス語のみで行われ、フランス語の文法を途中から学習します。上級のクラスは、授業はフランス語で行われ、文章を読んだり、プレゼンをしたりしていました。





学校には様々な人と一緒にフランス語を学びました。キャンパス・フランスのような短期のプログラムに参加している人、フランスに移住してきて仕事を探している人、フランスでの長期留学前に語学力を上げるために通っている人等がいました。国籍も様々です。一緒に授業を受けたり、アクティビティに参加していく中で仲良くなり、学校が終わった後に一緒にバスケットをしたり、街へ遊びに行くこともありました。お泊りをさせてもらっ

ていた友達もいました。毎週様々なアクティビティ(リヨンへの観光やヨット体験等)が準備されていて、彼らと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

留学を終えて

この留学を通じて、フランスへの長期留学に絶対に行こうと思うようになりました。留学前は、異国で生活をし、外国語で行われる授業に参加すること等に不安を感じていました。その不安から長期留学を辞めようと思ったこともあります。しかし、それらをこの短期留学で多少であれ経験することにより、不安を取り除くことが出来ました。また、語学力に関しては、約一か月間フランス語に囲まれて生活することで、フランス語が以前より聞き取れるようになったり、簡単な会話が出来るようになったりしました。

私の場合は長期留学のためという目的がありましたが、フランスに留学へ行くことを考えていない人やフランス語に自信がない人、フランス語を履修していない人でも行く価値のあるものだと思います。留学を考えているけど不安がある人、留学を考えていない人でも気軽に行けるものなので、是非おすすめします。

